

6. 認知症と共に歩む方々からのメッセージ

～ぼちぼちいかす～



【医師より】

認知症に関して、お困り事・心配事はございませんか？その事を医師に相談されましたか？
認知機能が低下する病気には、アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症などの他、甲状腺疾患、水頭症、ビタミン不足など様々な病気が存在します。早く医師に相談することにより、認知機能の維持・回復ができる場合もあります。たとえ認知症が進行したとしても、「自分らしく安心して暮らす」ためにできることがあります。
些細なことでも遠慮なくご相談ください。

〈小諸北佐久医師会〉



【歯科医師より】

お口の健康は全身の健康の源。認知症が進むと歯磨きや入れ歯の取り扱いも困難となり、お口の健康状態も悪化することとなります。ご自分でのお口の管理が困難になれば、ご家族をはじめ、介護に携わる方々の手助けが必要となりますが、なかなか目の届かないケースが多いようです。その際には、定期的に歯科医師に受診していただくことをお勧めします。また遠慮なく訪問診療を利用していただくと良いと思います。

〈北佐久歯科医師会〉



【薬剤師より】

薬剤師は薬の専門家です。歳を重ねると副作用が出やすくなりますので、どのようなことに注意したらいいかアドバイスします。主治医と連絡をとり合うこともできるため、本人の様子で気がついたことがあればすぐ知らせて下さい。

また、薬の服用回数を減らす提案や飲みやすい薬の提案をさせていただきます。薬の飲み忘れや飲みづらい薬があればかかりつけの薬局へ相談してみましよう。

〈小諸北佐久薬剤師会〉

